

日本薬学会北陸支部第 128 回例会 学生優秀発表賞受賞者(平成 28 年度)

平成 28 年度日本薬学会北陸支部第 128 回例会で下記 10 名の皆様が学生優秀発表賞を受賞致しました。
受賞された皆様おめでとうございます。



部門 A

金田真理彩 (富山大学)

「SRF 転写活性化因子 MKL1 および MKL2 のポストシナプス局在とその意義」

深澤和也 (金沢大学)

「骨格形成過程における Erk5 の役割」

長島涼太 (富山大学)

「種々疼痛モデルマウスにおける新規 PAC1 受容体アンタゴニストの薬理的評価」
間越祐貴 (富山大学)

「Interleukin-31 による痒み反応発生への脊髄伝達機構に関する解析」

天野貴之 (金沢大学)

「肝障害機序解明に向けたヒト肝臓におけるダントロレン代謝酵素の同定」

井上貴斗 (富山大学)

「SLC26A7 Cl⁻ チャネルは胃酸分泌細胞の細胞防御機構に関与する」

部門 B

三浦優佳 (富山大学)

「カチオン性金触媒によるアザエニンメタセシスと Diels-Alder 反応を経る新規
1,4-ジヒドロピリジン構築法の開発」

横澤春奈 (金沢大学)

「ロジウム(I)触媒を用いるアレニルアゼチジン-アルキンの分子内 [6+2] 環化付
加反応：アザビシクロ[6.4.0]骨格の構築」

Nurmaya Effendy (金沢大学)

「Synthesis and evaluation of radiotracers for PDGFR beta imaging」

有賀優也 (富山大学)

「ナノディスク自己複製反応メカニズムの熱力学的、速度論的解析」

(発表順)